

立春歌舞伎特別公演

昼の部 (午前11時開演)

【本朝廿四孝】八重垣姫の一途な恋心を描いた時代物の名作

武田勝頼は、足利將軍暗殺の真犯人を捜し出すことが出来ず切腹。その許婚であった長尾謙信の息女の八重垣姫が、香を焚いて菩提を弔っているところへ、絵像の勝頼に瓜二つの男が現れます。驚いた八重垣姫は腰元の濡衣に恋の仲立ちを頼みますが、花づくりの簀作と名のその男こそ、実は本物の武田勝頼で、勝頼は敵対する長尾家から奪われた諏訪法性の兜をとり返すために花づくりに姿を変えていたのです。やがて謙信は、勝頼を亡き者にしようとする追手を差し向けるのでした。

「十種香」は全五段の義太夫狂言『本朝廿四孝』の四段目にあたり、錦絵のような美しさを堪能できる一幕です。

【恋飛脚大和往来】実話に基づく悲恋を描く上方和事の代表作

飛脚問屋亀屋の養子忠兵衛は、井筒屋の遊女梅川と深い仲。身請けの手付金を払ったものの、後金の工面ができずにいるところへ、梅川に横恋慕する飛脚仲間の丹波屋八右衛門が現れ、梅川を身請けすると言ひ出します。八右衛門と言ひ争ううちに、忠兵衛は武家屋敷へ届けるために預かった公金三百両を、身請け金だと言って、金包みの封印を切ってしまう。公金の封印を切れば、死罪は確実。覚悟を極めた忠兵衛は、その金で梅川を身請けすると、二人で大和国に落ち延びていくのでした。

近松門左衛門『冥途の飛脚』が原作の、悲劇的な結末が胸を打つ上方和事の代表作をお楽しみください。

【幸助餅】相撲好きの若旦那と鼠屋力士との友情が心を打つ上方喜劇

大坂で指折りの餅米問屋大黒屋の幸助は、雷(いかづち)という力士を鼠屋に入れ揚げたためにみるみる落ちぶれ、今では侘しい長屋住まい。ついには妹のお袖を身売りさせるほど切迫しますが、その金で店を再興しようと奮起します。お袖のお蔭で工面できた三十両を受け取った帰り道、幸助は大関となつて見違えるほど立派になつた雷と再会。ここまで来たのも幸助のおかげと感謝を口にする雷に、幸助はつい大事なお金を祝儀と言つて渡してしまいます。このことを知った女房おきみらは、雷に三十両を返してもらおうとしますが、雷の口から出たのは意外な言葉で…。

松竹新喜劇の傑作を、鴈治郎が雀雀時代に歌舞伎の世話物として再構築した作品です。人情味にあふれ心温まる物語をご堪能いただきます。

夜の部 (午後4時15分開演)

【義経千本桜】義経の歎かな運命と初音の鼓が織りなす壮大な物語

源義経は源平合戦で大きな功を立てましたが、兄頼朝から謀反の疑いをかけられています。義経は左大将藤原朝方から初音の鼓を渡され、鼓を打て、つまり頼朝を討てという院宣が伝えられますが、これは朝方の企み。義経は、鼓を打たなければ院宣にも背かず、頼朝に敵対することにもならないと考え、鼓を拝領するのでした。後日、義経の館に頼朝の使者秩父庄司重忠がやって来ます。義経は頼朝を討つ心はないと申し開きをしますが、重忠はさらに平家方の卿の君を北の方として迎えたことを詰め寄ります。卿の君は、義経の潔白を明かすため自ら命を絶つのでした。義経は、わずかな手勢を従え御所を後にします。一方、武蔵坊弁慶は鎌倉方を相手に戦っていました。都落ちする義経の跡を追って行くのでした。(序幕 大内の場・堀川御所の場・同屏外の場)

静御前と忠信は、義経が吉野山に身を隠しているという噂を聞き、桜が満開の吉野山までやって来ましたが、忠信の姿を見失った静御前が義経の形見として賜った初音の鼓を打つと、忠信が姿を現します。義経の鎧と鼓を義経の姿に見立て、源平の合戦で平教経の矢によって命を落とした忠信の兄を思い出し、涙に暮れる二人。やがて、義経が匿われている川連法眼の館を目指し、再会を願いながら旅を続けるのでした。(二幕目 道行初音旅)

川連法眼のもとに身を寄せる義経を訪ねて佐藤忠信が参上します。義経は静御前の安否を尋ねますが、身に覚えのない様子の忠信。そこへ静御前が忠信を連れ立ってやって来ます。忠信が二人いることを不審に思う義経は忠信の詮議を命じますが、実は、静御前の供をしてきた忠信は狐の子で、初音の鼓に両親の皮が使われているため、親を慕って忠信に姿を変え、静御前と鼓を守ってきたのです。その姿に心打たれた義経は、鼓を狐に授けます。喜んだ狐は、鎌倉方に味方する悪僧を館に引き入れ、狐の通力で打ち負かすと、自らの古巣へ帰って行くのでした。そして、悪僧を率いる横川覚範は弁慶に平家の残党平教経であると見破られ、忠信が兄の仇を討とうとしますが、義経がそれを留め、安徳天皇を守るよう告げて別れてゆくのでした。(大詰 川連法眼館の場・奥庭の場)

三大義太夫狂言の一つ『義経千本桜』より、今回は「初音の鼓」の謂れが明らかとなる「大内の場」から、主要な登場人物が勢揃いするクライマックスの「奥庭の場」までを上演いたします。ケレン味あふれる演出と歌舞伎の魅力にあふれた舞台をお楽しみください。

2025年
2月1日(土) 初日～16日(日) 千穂楽

2025年2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
昼の部(11:00)	○	○	○	○	○	○	休演	○	○	○	○	○	○	○	○	○
夜の部(16:15)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

主催:大阪府・大阪市・大阪文化芸術事業実行委員会 製作:松竹株式会社 制作:株式会社アロープロモーション
本事業に関するお問い合わせ 大阪文化芸術事業運営事務局 ☎06-7177-6938(12月29日～1月3日を除く、平日10:00～17:00) ✉info@oica-project.jp

ご観劇料(税込) 一等席:15,000円 / 二等席:9,000円 / 三等席:5,000円 11月16日(土) 10:00より電話・Web受付開始



〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-9-19
OsakaMetro「なんば駅」15B出口 徒歩約1分
お問い合わせ ☎06-6214-2211

松竹ホームページ
https://www.shochiku.co.jp
歌舞伎公式サイト「歌舞伎美人」
https://www.kabuki-bitto.jp

チケットホン松竹 または ☎06-6530-0333
ご予約は ☎0570-000-489* (受付時間/10:00～17:00)
電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

*ナビダイヤルは交換機等の設定によってはかかりません。*チケットホン松竹で当日券のご予約はいただけません。

チケットWeb松竹 24時間予約受付 *チケットWeb松竹は事前登録(無料)が必要です。

チケットWeb松竹 🔍 検索

- 前売り初日は10:00から。
- 前売券取扱所/大阪松竹座・南座・歌舞伎座・新橋演舞場
- 窓口販売・切符のお引取りは11月18日(月)より。
- 窓口販売用別枠でのお取置きはございません。
- チケットWeb松竹のお問い合わせ ☎03-3545-2200(10:00～17:00)

お願い お買い上げになりましたチケットは、公演中止を除いて、ご変更やお取消はいたしておりません。また、転売目的でのチケットの購入は固くお断りしております。

チケットぴあ 🔍 検索 Pコード 529-405

イープラス 🔍 検索

ローソンチケット 🔍 検索 Lコード 52091

団体のお申し込み・お問い合わせは、販売営業まで

☎06-6214-2211